

南部高校 農場だより

2022年
3月号



写真：開花した南高梅

和歌山県学校農業クラブ

連盟代議員会を開催

2月25日(金)に和歌山県学校農業クラブ連盟代議員会がオンライン形式で開催されました。2S①沼野さんと2S③堀端さんが出席しました。本年度の事業・会計報告や近畿学校農業クラブ連盟理事会・日本学校農業クラブ連盟秋季代議員会などの報告を確認しました。オンライン上ではありましたが、生徒交流会も行い県連盟の事業についての意見交換やコロナ禍における農業クラブ活動について話しました。次年度の県連盟事務局は紀北農芸高等学校、事務局は熊野高等学校となっています。

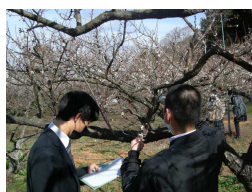


私がデザインしました

UME-1フェスタ🌸梅の里みなべ2022が中止となり、神島高校・南部高校の生徒で結成した高校生実行委員会メンバーより出場に向け準備していた各チームに記念品・特別賞が贈られました。トートバッグのデザインは、1S①②榎原さんがデザインしました。今回の出場メンバーが全員2年生だったため、2S③田上さんは「次回大会があるならエントリーし、出場したいです」という意気込みです。

料理名	チーム名	生徒名	賞
ガオ★パラダス	4&6	2S①宮原 希光	満足感 たっぷりで賞
		2S③田上 紗妃、岡本 稀星、森本 恵	
梅風味のパンケーキ	南高スイーツ女子	2S③芝峰 星奈、米原 里音	写真映え パッチリで賞

今年少し遅いかな



南部高校の園芸コースではその名も「ウメ」という名前の授業があります。この日はウメの開花調査を行いました。枝のつぼみと花の数を数え、開花率を調べました。結果は開花率100%。今年の開花は少し遅れています。この記事が出来る頃には、見頃となっていることでしょう。

販売所の名称が決定！

注目

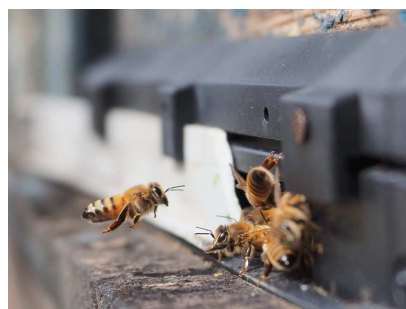
うめっこカフェ



現在まで、校内での販売は、販売実習室「南高カフェ」として平日や休日の販売を校内で行っていました。しかし、店名やイベント名が決定していませんでした。そこで農業クラブ員を中心に、全校生徒および教職員に呼びかけ1月13日(木)～20日(木)名称募集を行い、58件の応募がありました。農業クラブ員で選考し、1月21日(金)～1月31日(月)で投票を行いました。結果、店名が「うめっこカフェ」、イベント名が「南高フェス」に決定しました。コロナの影響で販売活動ができませんが、環境が整い次第、再開できるように準備をしています。



農場の生き物



すっかり梅の見頃の季節となりました。学校ではその名も「南高」という品種のウメを多く栽培していますが、こちらは自分の花粉を自分で受粉して、実をつけることが出来ません。(自家不和合性)そこで活躍するのが、花粉を運んでくれるハナバチの仲間です。毎年この時期、本校の卒業生である山本さんが経営する山本養蜂所から、セイヨウミツバチの巣箱をお借りして設置しています。

本種のほうが古くから日本に生息するニホンミツバチよりも、受粉にはむいていてるそうです。これから約一ヶ月ほどウメの受粉を手伝ってくれる彼女らは、ちよつとした出稼ぎ労働者ですね。